

生徒の主体的な学びを育む教育活動の研究

瀬戸高ひたぶるプロジェクト研究委員会

活動の目的

生徒の主体的な学びにつながる教育活動の指導方法を研究・実践・検証する。

活動の内容及び経過

1 課題研究「地域貢献」

「地域貢献活動報告会」

①日 時 平成29年10月26日(木) 12:20~16:15

②出席者 2年生156名、1年生159名、その他約30名(地域振興関係者、大学関係者、中学校関係者等)

③概要 総合的な学習の時間において、2年生による地域グループごと実施した地域貢献に関する取り組みの報告を行った。1年生は、報告を聴き、評価するとともに、地域振興関係者の方から、様々な意見をいただくことで、自らが取り組み課題を発見し、今後の調査研究に役立てた。

④内 容

- 各グループのポスター発表…全17グループのうち2グループのポスター発表を聴き、意見交換。
- 代表グループの全体発表…代表3グループがステージ発表。
- パネルディスカッション
(パネラー：地域代表2名、大学関係者1名、本校2年生4名)
- 地域振興関係者を囲む会…1年生が地域振興関係者から地域の課題と未来の展望について聴き取り、質問。

「セト☆ラボ～地域研究室～」

ジグソー法授業公開、ポスターセッション発表会、キャリア教育講演会」

①日 時 平成30年2月8日(木) 11:30~16:55

②出席者 1年生159名、その他約50名(地域振興関係者、大学関係者、中学校関係者、高校関係者等)

③概要 ジグソー法による授業を公開した。また、総合的な学習の時間において、「未来をよりよくするために地域の課題を知る」をテーマに調査・研究した内容の発表会、キャリア教育に関する講演会を開催した。

④内 容

- ジグソー法による授業公開…1年国語(小論文を書く)
2年数学(大学入試問題を解く)
- 各グループのポスター発表…全35グループのうち2グループのポスター発表を聴き、意見交換。
- 代表グループのポスター発表…代表9グループのうち1グループのポスター発表を聴き、意見交換。
- 代表グループの全体発表…代表1グループが発表。
- キャリア教育ミニ講演会…1年生、地域振興関係者、本校教員、他校教員対象。



・キャリア教育講演会…地域振興関係者、本校教員、他校教員対象。

2 ジグソー法による授業

1学期に、指導教諭による「ジグソー法による授業」についての教員研修会を開催した。その後、国語、数学、化学、物理の授業を中心に行った。若手を中心とした授業力向上チームも発足し、授業力向上に取り組んでいる。

活動の成果・効果

1 課題研究「地域貢献」に関しては、シンキングツールを活用することで「考える力」、グループで意見交換し、地域の方に発表することで「コミュニケーション能力」、さらに自らが企画、連絡して、地域に出て活動を行うことにより「行動する力」、「意欲」の醸成に役立っている。実際、希望者が任意に地域への活動に参加している。また、赤磐の桃農家の方、市役所の方々、地元町内会の方々等、地域からの瀬戸高校への応援者が数多く現れた。多くの励ましをいただくと同時に今後の活動の示唆もいただいた。

2 「ジグソー法による授業」に関しては、振り返りシートにおいて、「わくわくした。みんなで協力して課題を解決できたとき、達成感があった。もっと学びたい。」「自分で理解できていたこと、理解できていなかったことがはっきりとわかった。これから特に集中して取り組むべきことがわかったのでがんばりたい。」といった記述が見られるなど、主体的・対話的で深い学びが実現できているといえるであろう。

今後の課題と問題点

貢献活動内容が発信力に欠けるもの、受け身の活動になっているものもある。

- 代表者：乙部憲彦 ●所在地：岡山市東区瀬戸町光明谷
- TEL：086-952-1031 ●E-MAIL：seto@pref.okayama.jp
- URL：http://www.seto.okayama-c.ed.jp/
- 設立年：2015年 ●メンバー数：10名